

木津川市教育委員会会議録

令和8年第2回木津川市教育委員会定例会

○日 時：令和8年2月16日（月） 午後1時30分から午後2時16分まで

○場 所：木津川市役所 5階 全員協議会室

○出席者：竹本充代教育長、小松信夫委員、佐脇貞憲委員、皆川麻紀委員、智原江美委員
（事務局）平井教育部長、山口理事、雑賀理事、福井教育部次長兼教育総務課長、東村教育部次長兼学校教育課長、松井教育部次長兼文化財保護課長、中島社会教育課長

1. 開 会 教育長
教育長あいさつ

2. 前回会議録の承認
委員から異議なく承認された。

3. 議 事

次の2件の議案については、市議会提出前であることから、教育長が、木津川市教育委員会会議規則第12条第1項第4号に該当するため非公開とすることを発議した。

委員全員賛成のため、会議は非公開とし、会議録については事務の執行に支障が生じなくなった時点で公表する。

《議案第3号 令和8年度木津川市一般会計予算について》

教育長が、事務局に説明を求めた。

事務局が、議案書に基づき説明を行った。

〔説明〕

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、教育委員会の意見を聴取するもの。

令和8年度木津川市一般会計予算は歳入、歳出総額それぞれ376億6千500万円。うち教育費は44億228万6千円で、全体の11.69%。前年度比8億4千612万4千円で、2.67%の減である。

そのほか主な事業について説明。

【質疑】

委 員：ICT教育推進事業費について。小中学校に業務効率化のためのディスプレイを

購入する費用があるが、どのような使い方を想定しているのか。必要なものなのか。

事務局：校務用パソコンは配備しているので、つないで利用できるディスプレイだけを購入する予定である。特に業務量の多い役職に貸与し、同時に複数の作業を進行するなど業務効率の向上を目的に、購入費用を計上している。

教育長：現場からの要望はあったのか。

事務局：学校からの要望があった。

委員：学校給食センター管理運営事業費について。小学校給食費一部無償化事業は国の予算が可決されれば、確定するのか。

事務局：現在国からは方向性として示されている。金額は2年前の給食費の平均額に物価高騰分を加味したもの。国の予算については決定を見越して予算計上している。

委員：国の予算が新年度に間に合わない場合、保護者負担は増えるのか。

事務局：その場合でも現在のところ、保護者負担額を増額する考えはない。

教育長：国の予算が4月から執行されるのか、遡及適応されるのか、現在は不明である。

委員：文化財公開管理事業費について。くにのみや学習館の改修の具体的な内容はどのようなものか。

事務局：くにのみや学習館の外観や建物自体は変わらない。建物内部について、今年度耐震改修の診断をし、壁を強化してフロアスペースを拡大するよう検討している。市内外からの利用者が、パンフレットを読んだり、座ることのできるスペースを確保するよう工夫していきたい。

教育長：史跡の中にある施設なので建て替えはできないということか。

事務局：現在くにのみや学習館が建っている場所は恭仁宮跡の史跡指定地中であり、新增築などには制限がある。発掘調査も必要である。ただし、公的な施設への建て替えは認められているので、建物はそのまま利用し、内側をより使い勝手がよいように工夫したいと考えている。

委員：中学校費の施設管理事業費について。木津中学校、木津南中学校の教室不足は一時的なものか。どれくらいの数が不足するのか。

事務局：令和8年度から中学校も35人学級が導入される。加えて特別支援学級数も増加傾向であるため、2～3学級分不足と見込んでいる。数年後には減少に転じるが、ピーク時の対応として用意する。

委員：仮設校舎を建てるのではなく、現在の建物内で調整するのか。

事務局：そのとおり。

教育長：木津中学校、木津南中学校は城山台小学校から進学していく。加えて令和8年度からは順次35人学級が導入されていく。生徒数も増加するが、特別支援学級も種別が増加しており、少人数でも学級数が増加傾向である。一つの教室を区切ったり、特別教室を転用するなど工夫して対応したい。今後も予定学級数の推移も注視

していく。

委員：中学校の生徒数のピークはいつ頃になるのか。

事務局：木津中学校、木津南中学校で少しずれるが、令和10年度、11年度頃に2学級程度不足すると予測している。その後減少に転じる。

委員：令和8年度に改修して、実際には令和10年度に使用することになるのか。

事務局：令和8年度に設計、9年度に工事を予定している。木津南中学校の場合は、複数ある多目的教室や技術室を普通教室に転用することを検討している。どこの教室を転用するか、学校と協議し、設計段階で詳細を決定していくことになる。

委員：技術室は授業で使用するのではないのか。

事務局：技術室は2室あるが、調整することで1室での授業も可能であると聞いている。学校と協議して転用する教室を決定する。木津中学校は大きさの違う多目的教室が2つあり、転用について学校と調整中である。

委員：特別支援学級が増えている学校が多い。今後の見通しはどうか。

事務局：中学校の特別支援学級数は小学校の学級数から予測しやすい。増加傾向である。その傾向を考慮して不足する学級数の予測をしている。

委員：城山台小学校の特別支援学級数はいくつか。

事務局：13学級である。

教育長：先日開催された支援委員会の資料を見ると、各学校の特別支援学級へ入級する児童生徒の割合は増加しているが、人数は減少している。母数となる児童生徒数が減少しているためだが、種別が増加しており、学級数の予測が難しい。入級については、特別支援委員会や幼稚園、保育園、保護者の考えを聞きながら相談を行っているが、決定は年度末になる。情報共有しながら、適切に進めていく。

委員：安全対策事業費について。通学路安全対策事業とはどのようなことをするのか。学区はどこか。

事務局：令和8年度は、州見台小学校正門前の横断歩道のカラー化、木津川台小学校区のうるおい公園近くの横断歩道のカラー化、木津小学校区川原田の交差点の危険区域にグリーンラインを引くなど、安全確保のために実施する。また「通学路のため減速」などで読みにくくなっている箇所を引き直しなども実施する。地域や学校などからの要望について交通安全指導員が実地確認している。

委員：学校給食センター管理運営事業費について。国から1人あたり1か月5,200円の補助がされるが、実際の給食費よりも少ないため、その差額を保護者が負担するということか。

事務局：そのとおり。給食運営委員会で承認された木津川市の給食費と補助額の差500円が保護者負担となる。

委員：小学校費の施設管理事業費について。恭仁小学校にインターホンをつけるということだが、現在恭仁小学校だけ設備がないということか。

事務局：そのとおり。他校には設備がある。恭仁小学校に整備されていないため、予算を計上している。

【採決】

教育長が議案第3号について採決を行い、全員一致で可決された。

《議案第4号 令和7年度木津川市一般会計補正予算第9号について》

教育長が、事務局に説明を求めた。

事務局が、議案書に基づき説明を行った。

〔説明〕

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、教育委員会の意見を聴取するもの。

令和7年度木津川市一般会計予算に歳入、歳出総額からそれぞれ5億4千188万2千円を減額し、総額389億4千558万5千円とする。うち教育費は3千172万5千円減額し、53億7千621万円で、全体の13.8%。主な減額理由は東部交流会館等の照明LED化改修を予定していたが、市の環境課が取組みを進める公共施設照明LED化事業の対象施設となったため、該当費用を減額する。また山城総合文化センターに係る改修工事については、事業者が決定したことにより、不用分を減額する。

【質疑】

教育長：繰越明許費について説明願いたい。

事務局：山城総合文化センターに係る改修工事については、初回の入札が不調であったため、9月議会で情勢に応じて増額することと併せて、年度内の工事完了が見込めないため、令和8年度に繰越する補正予算を計上していた。11月に施行業者が決定し、前払金を支払ったため、差し引きして不用分を減額することと併せて繰越する額も減額することとなった。

教育長：会計年度独立が原則であるが、年度内に工事が終了しない場合などは繰越明許費を設定している。年度末であるため、全体的に事業完了などにより確定した不用額を減額している。

委員：東部交流会館の照明LED化が環境課の事業になったとのことだが、所管は教育委員会のままということによいか。

事務局：市全体の公共施設のLED照明について、一括して賃貸借契約を締結することで、安価になっている。財政を考慮しての事業であり、教育部所管の施設であることに変わりはない。

【採決】

教育長が議案第4号について採決を行い、全員一致で承認された。

非公開とする案件が終了したため、教育長が会議を非公開とすることの終了を宣言した。

4. 教育長報告（令和8年1月27日～令和8年2月16日）

教育長が、事業報告に基づき報告を行った。中でも次の点について、説明があった。

- ・ 1月30日 令和7年度第3回京都府都市教育長協議会に出席し、教育課題に対する意見交換や情報共有を行った。
- ・ 2月 2日 令和7年度相楽地方教育長・職務代理者合同会議を開催し、令和8年度の事業等について決定した。
- ・ 2月 3日 山城地方教育委員連絡協議会研修会が開催され、委員にも出席いただいた。
- ・ 2月 9日 木津川市いじめ防止等対策委員会が開催された。第2回いじめアンケートの結果報告などが行われた。
- ・ 2月10日 令和7年度木津川市防災会議・木津川市国民保護協議会に出席した。防災計画の一部改正や令和7年度の災害、訓練等の報告があった。
- ・ 2月12日 人権推進本部会議に出席した。第3次人権教育・啓発推進計画策定に向けた計画案について協議した。
- ・ 2月13日 生きがい大学の開講式に出席し、代表者の方に修了証を手渡した。
- ・ 2月15日 第32回相楽「少年の主張」大会に出席した。小学生では最優秀賞、優秀賞を、中学生では優秀賞を木津川市代表の児童生徒が受賞した。

5. その他

(1) 今後の行事予定

事務局が、今後の行事予定について説明を行った。

- (2) 次回教育委員会は、令和8年3月23日（月）午後1時30分に木津川市役所で開催することを確認した。

教育長が、会議を閉会した。